

もりのにぎわい通信

2012年5月26日 定例活動報告

日時：2012年5月26日（土）9：00～15：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 20～25℃ 湿度 44% 風向 東南東 風速 5m

参加者：36人：子供6人、大人30人（小山町・土地改良区13人）

■ 活動

9：00 除草作業開始、テープのセット、
 カウントダウン用の堆肥・水の準備

9：30 受付開始

9：45 グリーンウェイブと被曝アオギリ二世の説明、植林

10：00 グリーンウェイブ恒例のカウントダウン完了

10：10 鈴木優子先生のお話「生物多様性について」

 大友自然保護対策室長のお話「谷津田等の保全区域について」

 集合写真

10：50 作業を3部隊で分担

 刈払機による作業

 サツマイモ・落花生の植え付け作業

 鎌・剪定ばさみによるクズ蔓の処理作業

12：10 昼食

13：30 鈴木優子先生による自然観察会

15：00 後片付け

15：30 解散

■ 活動報告

去年の雨による2回順延とは打って変わり、今年は晴天に恵まれました。5月に入って雑草の伸びがグンと速くなって、手入れが間に合わないほどの厳しい追いかけっこになってきました。地元の方々が早くから刈払機を駆使して順路と植林エリアの雑草を刈ってくれました。来賓も鈴木優子先生、千葉市の大友自然保護対策室長と金原様も到着され、堆肥の準備・水の準備、準備万端と言いたいところですが、被曝アオギリ二世を乗せた喜多さんの車がなかなか到着しません。間に合わないか、何かあったかと心配しているところに、あの黄色の車が入ってきました。もう、ギリギリのタイミングになっていました。

10:00のカウントダウンに合わせて水やりを行うというイベントで、遅れるとこの会場の波だけ遅れて走るということになりそうですから時間合わせには気を使いますし、プレッシャーがあります。星野（正人）さんが風邪でお休みになり、急遽、代わりに喜多さんが時計係りの大役を任じられました。「3分前、大丈夫ですか?」「2分前、急いでください」と声をかけ、いよいよカウントダウンが始まりました。「10, 9, 8, ……3, 2, 1, 水お願いします!」6本の被曝アオギリ二世に水がかけられ、拍手がおこり、今年で3度目になるグリーンウェイブのイベントが完了しました。我々も地球を奔る一条の波を起こせたかと思えば誇らしいものがあります。

続いて、中央広場に移動し鈴木優子先生の「生物多様性について」のお話をいただきました。植林地から採取してきた土を篩いにかけて、土の中の土壌性物が木の葉や生き物の死骸などの有機物を分解して豊かな土壌が造られて行くという話をされ、子供達もその中にいた小さな生物を観察でき喜んでいました。観察の結果、5年前には砂漠のようだった土が少しずつ改善されているという労いの言葉をいただきました。また、千葉市の環境保全課自然保護対策室の大友室長からは、「谷津田等の保全区域について」のお話をいただき、ここは谷津田そのものではないが、谷津田が残って行くためには重要な役割を担う水源涵養林になるはずの土地であること、市として残すべき重要な谷津田保全地区(谷間と斜面と台地)のモデルの1つとしてここがあがっているという話もいただきました。

冷たいお茶と出来立ての柏餅をいただいて元気が戻ったところで、3チームに分かれて作業を開始しました。第1チームは、小高さんと橋本さんに指導してもらいサツマイモと落花生の植付けです。こちらはなるべく親子参加の皆さんにお願いしました。植付の終わった後には、テグスでカラス対策を施しました。百金で買って来たテグスがいけないのか、からんでしまいテグスをほぐすのにかかった時間のほうがよっぽど大きく、大変苦勞しました。(石阪さん、植松家の皆さんご苦勞様でした)

第2チームは地元の方々を中心として刈払機の作業を続けていただきました。上の侵入路に加え、下はクズの蔓を処理する予定のエリアを中心として刈っていただきました。刈払機があつてこそ広い範囲がカバーできるのだなと今更ながら思います。

第3のチームは鎌や剪定ばさみによるクズの蔓の処理を行いました。刈払機では苗の際まで処理できず蔓が巻き付いたままになっています。これは人間が中腰でやらざるをえない作業で骨がおれます。鈴木優子先生、小林さん、喜多さん、西口さんにもお手伝いいただきました。刈払機と人手作業のコーディネートをやれば、もう少し広い範囲をカバーできるかなという気もします。

午後からは鈴木優子先生の指導による自然観察会となりました。小山の森の中に分け入って、草花を紹介していただきました。特に危険なもの、優先している種、群落、環境の指標になる種に注目しましょうと教わりました。触ればかぶれてしまうツタウルシ、棘のあるサンショウヤタラノキを見せてもらいました。その場所での優先種と環境については、乾燥に強いススキが乾燥地には多いなどのようにその理由があつて植物相を見ればどう土地かも分かるということでした。スギの森の中では、リョウメンシダ(このシダは通常のシダと違い、裏も表も同じ表面をしているからこう呼ばれるということでした)がたくさんありましたが、リョウメンシダが生育するくらいの暗さがスギの森が生育するには丁度良いのだという指標になっているのだそうです。森の中を歩くのは斜面も多いたいへん

でしたが、ひんやりしていて空気がきれいなのだろうかということが感じられました。森から出れば強い日差しの中をたくさんのシオカラトンボが舞っていて、本当に自然を満喫できた一日でした。鈴木優子先生、有難うございました。皆さん御苦労さまでした。

(記録：金井章男)

■ 森もりあそび隊

グリーンウェイブの参加

子どもたちは森に到着するなりアオギリを植樹する場所へ移動させられ、何するんだろうという様子。一つの苗につき子ども1~2人と大人2人が担当で、カウントダウン前に今まで鉢で種から大事に育てられたアオギリの苗を地面に植えました。1分前の声が響きます。あとはカウントダウンに合わせてじょうろで水をかけますが、はやく水をあげたくてしょうがない小学2年生の女の子は若干フライング・・・あわてて止める大人。10・9・8・・・とカウントダウンの緊張する空気の中無事終了し、世界の緑の波の一つになれた一瞬でした。

こどもにとってグリーンウェイブに参加することで地球上の緑の大切さを考えるいい機会になったのではと思います。

その後は農業の専門家(小高さん・橋本さん)の指導の下、森もりあそび隊のメンバーでサツマイモの苗植えと落花生の種を殻むきから植え付けまで行い、落花生はカラスから狙われやすいのでテグスで対策。こんな簡単な仕掛けで大丈夫なんだろうかと心配しましたが、カラスより頭がいいはずの人間が準備中にテグスに足を引っ掛けて転びそうになるところを数回目撃・・・なんとなく安心したのです。人間も引っかからないように注意しましょう！

自然観察会

昼食後、環境学習アドバイザーの鈴木優子先生の自然観察会がありました。コースは谷津田の周りの杉林の中。じりじりする日差しの中、暑さでぐったりしていた子も林の中にはいるとスーッとヒンヤリした空気がながれて“すずしい！きもちいい！”とって元気になった様子。

全部覚えるのは大変だから危険な物・その場所に優先しているものから覚えていきましょう！との話がありました。観察目的で散策すると普段では気にしていなかったものがたくさん目に付き質問がとびかって、なかなか先にすすまないあそび隊メンバー。2km・一時間のコースが200m・一時間になりそうな不安も・・・。

なかなか歩くことのできない杉林の中は根元にたくさんのシダが育ち神秘的な空間でした。

探検家さながら、けもの道のような急斜面を斜めに倒れている竹をかきわけながら進むところもありました。

危険なものは、触るとかぶれてしまうツタウルシ、たべてはいけないドクゼリ(みつばに似た毒草)、とげのあるサンショウ。出会った植物はマムシグサ、ナルコユリ、イノデの仲間、リョウメンシダ、フユイチゴ、ウノハナ、エゴノキ(森のシャンデリア) 食べるとおいしいモミジイチゴ(黄色く熟しているものを食べながら歩きました) むかし武士がご飯に混ぜて食べていたウコギ、ハナイカダ、オナモミのように服にくっつくヤブジラミ・・・出会った生き物はイトトンボ、ナナフシの子ども、田んぼにはシオカラトンボ、田んぼの水の中にはニホンアカガエルの子ガエルをたくさん見ることができました。

ミツバに似たウマノミツバは小葉が5つで脈がへこみ、しわが目立つ。これはまずくて食べられない、馬に食べさせるくらいの意味、毒はない。近くに本物のミツバも育ち、パッと見では判断が難しく、野草のことをよく知らずに食べるのは要注意だと思いました。

元の場所に戻ってきてさっそくヤブジラミを近くでたくさん見つけて集め、タオルに投げつけて遊んでる女の子がいました。なかなかいい遊びを見つけました♪

(記録：和田みさ子)

.....

■ お知らせ ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例活動は、6月23日(土)(雨天6月24日(日))除草作業、苗木の乾燥・暑さ対策と自然観察会(昆虫・植物)を行なう予定です。



グリーンウェイ2012参加者 集合写真



小高会長の開会挨拶



グリーンウェイブの説明



アオギリ植樹会場



金原さんと森もりあそび隊隊員



被爆アオギリの植樹



10:00 一斉に水を上げました。



土壌の中の生き物調べ



大友室長のお話



サツマイモの苗植え



サツマイモ苗 (250本) 植え付け



夏を思わせる昼下がり



何か発見？



観察ノートにメモを取る隊員たち



なんというトンボでしょうか？